

「宇野さん、僕の病気が悪くなつて、もし、死ぬやうなことがあつたら、僕の家へ来てくれますか、」
宇野千代「あの梶井基次郎の笑ひ声」

企画展

ことばの 交差点

川端康成、梶井基次郎、宇野千代、井上靖

深い闇のなかで味わうこの安息は一体なにを意味しているのだろうか。
梶井基次郎「闇の絵巻」

伊豆は詩の国である、世の人はいう。
川端康成「伊豆序説」

山河美しければこころ美し、と書いたことがある。美しい故里に育ったのだから、こころだけはきよらかに生涯を送りたいと思うのである。

井上靖「故里美し」

2026 9/27(日) ▶ 2027 3/9(火)

長泉町井上靖文学館

静岡県駿東郡長泉町東野 515-149 電話 055-986-1771

開館時間=10時~17時/ご入館は16時30分まで

休館日=水曜日/祝日の場合は翌平日休館/12月28日(月)~2027年1月4日(月)

観覧料=大人・大学生200円/高校生以下は無料

協力=株式会社 宇野千代、県立神奈川近代文学館、世田谷文学館、湯本館、伊豆近代文学博物館、伊豆市資料館、

一般社団法人 伊豆文士村、独立行政法人 国立高等専門学校機構 沼津工業高等専門学校

後援=一般財団法人 井上靖記念文化財団

長泉町在住・在勤の方
観覧料は無料です

※証明できるものを
持参ください



ホームページ



X



Instagram

企画展「ことばの交差点」

川端康成が伊豆の踊り子に初めて出会った時、井上靖は伊豆湯ヶ島に住む小学校5年生でした。川端はその後作家仲間を伊豆へ誘い、尾崎士郎・宇野千代夫妻などが滞在したことを機に、「湯ヶ島文士村」と言われるほど、文学者が集いました。彼らはお互いに影響を与え、共鳴しました。

本展では、4人の作家の交流を紐解きながら、結節点である伊豆湯ヶ島の当時の姿とゆかりの作品を紹介します。9月から宇野千代を主人公にしたNHK連続テレビ小説「ブラッサム」が放送されます。宇野千代の伊豆時代にご注目ください。

伊豆文豪しおり

伊豆市資料館の企画展「100年前の青春 宇野千代と湯ヶ島文士村」と連携し、伊豆文豪しおりを配付します。両館をめぐる絵柄が完成するしおりです！

※伊豆市資料館の企画展及びしおり配布は12/20(日)までです。

沼津高専 × 文学館

沼津高専の学生が発案した2つの企画をお楽しみください。

筆跡マッチ度測定

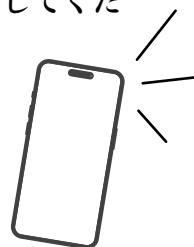
井上靖ってどんな文字？
あなたの文字と井上靖の文字は似ている？
ぜひ展示室で測定してみましょう！



※いずれも予約不要、参加無料です

スマホで伊豆文豪検定

スマホを片手に、館内をめぐりながら、クイズに挑戦してください。
満点が取れたら、あなたは伊豆文豪博士！



建築ツアー

12/6(日) 予定

当館は建築家・菊竹清訓によって設計されました。菊竹の自邸が国の重要文化財に指定されたことを契機に建築ツアーを実施します。

行程、参加費、申し込みなど、詳細は11月頃HP、SMSにて発表

トークイベント

11/29(日) 1/17(日)

10:00~11:30

「梶井基次郎と宇野千代」

会場：井上靖文学館 2階

講師：神田航平さん

鈴木基文さん(聞き手・船原館会長)

定員：各回 20人

参加費：無料(要観覧料)

伊豆湯ヶ島時代の梶井基次郎と宇野千代との交流について、初公開資料とともに紹介します。

神田航平さん

梶井が逗留した宿「湯川屋」のご子孫。一般社団法人伊豆文士村理事で「湯ヶ島檸檬忌」を行う。

〈申込方法〉

- (1) 申込期間／11月10日(火)～
- (2) 申込方法／
申込フォームにて申し込む



※同じ内容です(先着順)

長泉町 井上靖文学館

〒411-0931 静岡県駿東郡長泉町東野 515-149 電話 055-986-1771

【アクセス】

＜お車の場合＞

新東名高速道路 長泉沼津 I.C. 出口または東名高速道路 沼津 I.C. 出口から伊豆縦貫道(東駿河湾環状道路)を經由し、長泉 I.C. 出口 国道 246 号を右折 新東名高速道路 長泉沼津 I.C. から約 7.5km

＜電車・路線バスの場合＞

JR 東海道線「三島駅」下車、路線バス(富士急行):三島駅南口発「駿河平線」、バス停「ビュフェ美術館入口」下車徒歩 5 分

